

令和 6 年 5 月 29 日現在

機関番号：17701

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2023

課題番号：18K00457

研究課題名(和文)古代農書『ゲオーポニカ』研究 アラビア語版に基づくギリシア語原典の復元

研究課題名(英文)A study of the GEOPONICA

研究代表者

伊藤 正 (Ito, Tadashi)

鹿児島大学・法文教育学域教育学系・名誉教授

研究者番号：10253858

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題に関わるユニウスの農書のアラビア語写本二つ(Mashad Rida 5762とTeheran Milli-796)を入手した。同書は14書から成るが、そのうちの1～6書までの翻刻・翻訳を終えた。また、ユニウスの農書のシリア語写本のLagardeの校訂本を用いてその翻訳を行ってきたが、丸4年の歳月をかけて翻訳が完了した。このような写本の研究を通して、次のことを明らかにした。1.シリア語版は明らかにユニウスの農書である。2.シリア語版はギリシア語原典の忠実な逐語訳である。3.アラビア語版はシリア語版に由来する。

研究成果の学術的意義や社会的意義

上述したアラビア語およびシリア語写本の翻刻・翻訳は、未公開資料であることに加えて世界初の試みであるため、その意義および学術的価値は極めて高い。『ゲオーポニカ』の底本のそのまた底本の一つと考えられる農書のギリシア語原典は現存していない。その農書(ギリシア語原典)がまずシリア語に翻訳され、そのシリア語訳がさらにアラビア語に翻訳されて、それらの写本が現存する。本研究において、わたくしが翻刻・翻訳したものが取りも直さずこれらのシリア語・アラビア語写本である。したがって、シリア語・アラビア語写本からギリシア語原典の内容を復元することが可能になった。

研究成果の概要(英文)：Two Arabic manuscripts of Junius's Agricultural Book (Mashad Rida 5762 and Teheran Milli-796) were obtained. The book consists of 14 books, of which 1-6 have been transcribed and translated. The applicant also used Lagarde's revised version of the Syriac manuscript of Junius's agricultural book to translate it, which took four full years to complete. Through the study of such manuscripts, the following was revealed. 1. The Syriac version is clearly Junius's agricultural book. 2. The Syriac version is a faithful literal translation of the original Greek. 3. The Arabic version is derived from the Syriac version.

研究分野：西洋古代史、西洋古典学および東洋言語学

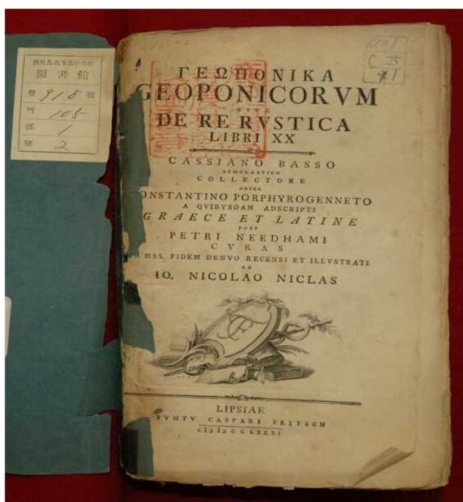
キーワード：ゲオーポニカ アナトリオスの農書 ユニウスの農書 マシャド写本 テヘラン写本 アラビア写本 シリア写本

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

2006年夏に鹿児島大学中央図書館において次の書物が発見された。

とびら (写真参照)



タイトルページ

: Geoponicorum sive de re rustica libri XX / Cassiano Basso Scholastico Collectore; antea [C]onstantino Porphyrogeneto a quibusdam adscripti Graece et Latine; post Petri Needhami curas [a]d mss. fidem denuo recensiti et illustrati ab Io. Nicolao Niclas / Lipsiae: Sumptibus Caspari Fritsch, MDCCCLXXXI.
これは『ゲオーポニカ』と呼ばれる書物で、奥付から MDCCCLXXXI (1781) 年に Lipsiae (ライプチヒ) で刊行された Niclas 版であることが分かった。爾来、『ゲオーポニカ』の研究に従事してきたが、申請当時、『ゲオーポニカ』の底本のそのまた底本の一つと考えられる農書がシリア・アラビア写本として現存することが判明した。しかし、そのギリシア語原典は現存していないので、シリア・アラビア写本を解読することによって、幻のギリシア語原典を復元できないものかと考えるに至った。これが本研究開始当時の背景である。

2. 研究の目的

研究の目的は研究課題「古代農書『ゲオーポニカ』研究 アラビア語版に基づくギリシア語原典の復元」が示すように、『ゲオーポニカ』の底本のそのまた底本の一つと考えられるユニウスの農書のギリシア語原典の復元である。課題設定の時点では、アラビア写本のみを念頭に置いていたが、すぐに、シリア写本を研究の対象に加える必要があることが分かった。

3. 研究の方法

(1) 『ゲオーポニカ』の翻訳。

(2) 写本の入手。

シリア写本。これは P. de Lagarde の校訂本 (*Geoponicon in sermonem Syriacum versorum quae supersunt*, Lipsiae, 1860) を用いた。アラビア語写本二つ: Mashad Rida 5762 と Teheran Milli-796。コロナ禍で海外での資料収集を目的とした出張はできなかったが、当該研究の世界的な権威者の一人である Carlo Scardino 氏のご厚意により入手することができた。

(3) ユニウス (シリア写本・アラビア写本) の農書の翻刻・翻訳を行なう。

(4) 『ゲオーポニカ』とユニウス (シリア語版・アラビア語版) の農書との比較研究を行なう。

4. 研究成果

『ゲオーポニカ』とユニウスの農書の内容を比較し、以下のことを明らかにした。すなわち、

(1) シリア写本は明らかにユニウスの農書である。(2) 『ゲオーポニカ』はその多くがユニウス

スの農書に由来する。(3) シリア写本はギリシア語原典にきわめて近い。シリア写本はユニウスの農書と呼ばれていたギリシア語原典(X)の忠実な逐語訳である。(4) アラビア写本はシリア写本に、またアルメニア語版はアラビア写本に由来する。(5) 6世紀にカッシアノス・パッソスはギリシア語原典(X)を底本の一つとして『農業に関する選集』を編纂した、また10世紀に『ゲオーポニカ』の編纂者が『農業に関する選集』を底本として彼の編纂書を著した。

このような内容の論文を一昨年(2022年9月末)国際的な専門誌 *Byzantinische Zeitschrift* に投稿した。この雑誌はこの分野では最も権威のある雑誌の一つなので、掲載されれば、本研究成果が高い評価を受けたことになる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 伊藤正	4. 巻 69
2. 論文標題 シリア・アラビア・アルメニアの伝承における『ゲオーボニカ』－ユニウスおよびアナトリオスの農書と『ゲオーボニカ』第2書について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西洋古典学研究	6. 最初と最後の頁 63-80
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 T. Ito	4. 巻 2
2. 論文標題 The tradition of the Geoponika: A comparative study with Anatolius' Book	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ATINER's Conference Paper Proceedings Series	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件/うち国際学会 1件）

1. 発表者名 伊藤正
2. 発表標題 シリア・アラビア・アルメニアの伝承における『ゲオーボニカ』－ユニウスおよびアナトリオスの農書と『ゲオーボニカ』第2書について
3. 学会等名 日本西洋古典学会第71回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tadashi Ito
2. 発表標題 The tradition of the Geoponika: A comparative study with Anatolius' Book
3. 学会等名 2nd Annual International Conference on Classical and Byzantine Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 伊藤正	4. 発行年 2019年
2. 出版社 刀水書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 ゲオーボニカ 古代ギリシアの農業事情	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------